

令和4年度 第4回 上島小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月10日（金） 13時00分から15時00分
- 2 開催場所 上島小学校 会議室
- 3 出席委員 黒柳 寿一、青木 榮治、大橋 薫、小板 喜世子、山本 暢子
池村 俊典、森園 大介、安川 彰一、横山 美保
- 4 欠席委員 山崎 賜
- 5 学校職員 山本 千興（校長）、佐山 淳一（教頭）、
山内 剛治（主幹教諭）、高橋 靖人（CS担当）
- 6 オブザーバー 浜松市曳馬協働センター 大平 智史
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - (1) 会長あいさつ
 - (2) 校長あいさつ
 - (3) 議長の選出 ※出席した委員の中から互選
 - (4) 熟議内容
 - ①学校評価と次年度への改善策等、及び学校関係者評価
 - ②学校運営協議会委員の自己評価
 - ③令和5年度の学校運営の基本方針
 - ④令和4年度「夢育やらまいか事業」
 - ⑤「浜松市立上島小学校いじめ防止基本方針(案)」
 - (5) 令和4年度の学校支援活動の報告
 - (6) 曳馬協働センターより
 - (7) 連絡事項
 - ・令和5年度 第1回学校運営協議会について

9 会議録 作成者 CSディレクター 清水 遥

10 会議記録

- ・司会から、委員総数10人の内9人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。
- (1) 議長の選出について
 - ・司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青木委員から黒柳委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- (2) 会議内容について
 - ①学校評価と次年度への改善策等、及び学校関係者評価について
 - ★議長の指示により、主幹教諭の山内から、別紙資料に基づき結果についての説明があり、委員から以下の質問や意見があった。
 - ・「〇年〇組あったかプロジェクト」とは具体的に何をするのか（山本委員）
→朝の会でのふわふわ言葉、学級ごとのクラス目標について話し合って改善する。学級の活動、お楽しみ会などを行いながらトラブルが出たときの対処など一年間通してや

っていく。(山内主幹)

- ・子供達と地域との関わりをもちたいと保護者は学校へ期待されているのではないかと。(森園委員)
- ・子供会や自治会など、どこかだけに任せると負担があるので学校や地域みんなで関係を構築していく必要がある。(黒柳委員)
- ・本年度、体育振興会主催の地域の運動会について、参加希望のアンケートを実施したところ、多くの子供が「参加したい」と回答していた。(安川)
- ・コロナ以前は上島幼稚園にて、園児と児童の交流活動が行われていた。コロナの感染状況等に注意しながら、活動や学習を再開したらどうか。(山本委員)
- ・コロナ以前は、地域の防災倉庫の見学等の学習も実施していたように思う。(黒柳委員)
- ・学校側はもっと地域に出て行って積極的にやれば良いと思っている。次年度は総合的な学習の時間に力を入れていきたいと考えている。上島小校区の魅力等、インターネット上の情報だけではなく、校外に出ることで、実際に「人」「もの」「こと」に出会わせたい。本物を(に)「感じる」「聞く」「知る」「触れる」ことが必要。(校長)
- ・曳馬小の事例を紹介。時間と労力はすごくかかったがやってみたら良かった。ただ、やれるのは一学年だけ。また、今までの手伝いしたことを発表する児童がいて感激した。(池村)

②学校運営協議会委員の自己評価について

- ・会長から自己評価一覧(案)を提示
→原案通りでよい。(委員一同)

③令和5年度の学校運営の基本方針について

- ★議長の指示により、山本校長から、別紙資料に基づき基本方針(案)についての説明があり、委員から以下意見があった。
- ・非常に分かりやすく、思いが伝わってきた。保護者として、安心して預けられる。すばらしい学校経営方針だと受け止めた。しかし、グランドデザインをホームページに掲載だけだと伝わらないので、保護者にも直接、校長の思いや考えを伝える機会があると良い。(森園委員)
- ・運動会での6年フラッグ演技をぜひ全学年に見てほしい。異学年交流が達成できる。今年度の評価・改善ができる。(森園委員)
- ・地域の人材を発掘まで教師がやると放課後のゆとりがなくなる。コーディネーターとして協力できたらよい。(森園委員)
- ・保護者から地域とのつながりが足りないという意見をいただいている。学校だけで完結する学習ではなく、地域に直接出掛けていく学習に魅力を感じれば、学校に行くのが楽しくなる。さらに、その学習について熱心に取り組めば、「上っ子学習発表会(2月)」に自信をもって発表できることにもつながるのではないかと考えている。(山本校長)
- ・とても分かりやすかった。次年度の計画も考えられているようなので、ぜひ、地域ができることがあれば、今年度中に出してもらえれば、地区社会福祉協議会などでも、参加や準備を考えられる。もし可能であれば、やってみたいこと、協力できることがあれば、教えてほしい。(大橋委員)

★拍手多数で「承認」された。

④令和4年度「夢育やらまいか事業」について

- ・別紙資料にて報告。

⑤「浜松市立上島小学校いじめ防止基本方針(案)」について

- ・別紙資料にて報告。
- ・質問・意見なし。

(5) 令和4年度の学校支援活動の報告

- ・一歩進めたのはよかった。学校からの要望をもらったが、時間と労力が大変。しかし、今後も協働センターと連携しながら頑張りたい。コーディネーターとして、地域の方が集まる場に参加して、学校支援活動について説明したい。(森園委員)
- ・地区社会福祉協議会の会合に参加できるので、ぜひ説明に来てほしい。(小板委員)
- ・1人だと限界がある。現役世代の方をどうやって学校に取り込んでいけるのか、持続可能な活動になるように考えていくことも大切だと思う。(池村委員)
→地域みんなでできる体制づくりを考えたい。(森園委員)
- ・学校から外部人材の依頼が入るのは、4月ごろから。もう少し早く教えてほしい。可能であれば、新年度の職員会議に参加させてもらい、支援活動について全教職員に対して、コーディネーターが、直接、説明ができると良い。人材探しには、3か月程度は必要。そのためにも早めに要望をいただきたい。(池村委員)
- ・各学年で今年度の活動を振り返り、どんな学習や活動、人材が必要かを洗い出しておく方が良いのではないか。(山本委員)

(6) 曳馬協働センター 大平 智史 様より

- ・来年度も人材を発掘し、コーディネーターを通じて学校とつながっていきたい。

(7) その他報告事項等

★佐山教頭から、来年度、第1回会議は、令和5年4月27日(木)に開催予定との連絡があった。